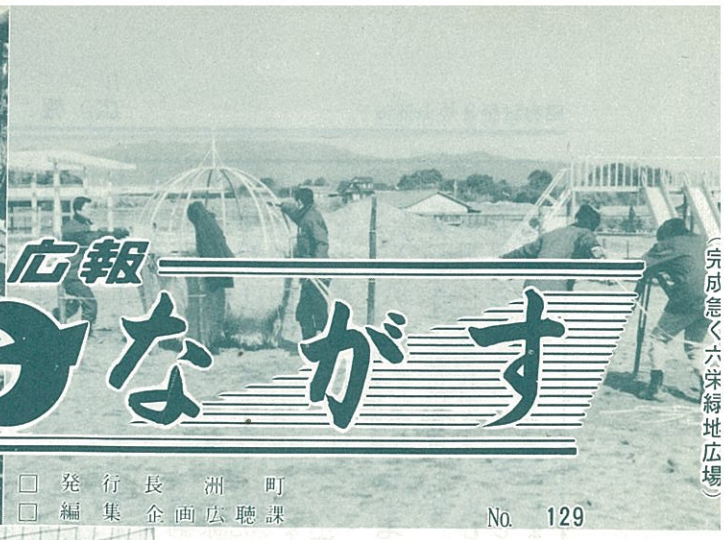
（植木市）



（完成急ぐ六栄緑地広場）

広報 ながす

□発行長　洲町
□編集企画広聴課
No. 129

■今年は例年より春の気配が早い。春を呼ぶ・植木市は今年も二月二十一日から三日間、四王子宮境内で行われた。草花から枝を縦横無尽に伸ばした木々まで何百種類の物が思い思いに取引された。

■もうすぐ完成します。六栄保育所横に建設中の緑地広場は、埋立造成、遊具設置も終り、植樹が進められている。千二百本の緑の下で、よい子のみなさん、思う存分遊びなさい。三月いっぱいで出来上がる。

（日立野球部の練習風景）

円内は加藤監督

■日立造船野球部も始動した。この近郊で唯一の硬式野球部で結成されて三年目、平均年令二十歳九カ月という若さ溢るるチームだ。昨年の成績は八勝十三敗、どちらかといえば守備のチームで、左右三人の投手を擁して守りを固める一方、あくまでもセオリーを重視して正攻法をとる。野口部長、加藤監督口を揃えて「九州の中では上位ランクに突入したい。勝つ喜びを選手と町民のみなさんと共に知りたい。地元で試合をたくさんやるので、応援して下さい」都市対抗出場は近い将来か……

春よ来い

日曜在宅医

三月七日
西岡医院（清源寺）八〇二〇二
三月十四日
長谷川医院（清源寺）八三一三一
三月二十一日
渡辺医院（下　今）八〇六二〇
三月二十八日
浦島医院（出　町）八〇〇五〇
原則として午前九時から午後五時までで往診はいたしません。

3/1

おもな内容

☆ 地籍図、地籍簿の公告閲覧……(2)
☆ 農作業の委託……(2)
☆ 工場めぐり……(2)
☆ みんなの目……(3)
☆ お知らせ……(4)

題字　六栄小4年　福田美保さん

地籍図、地籍簿の公告閲覧をどうぞ

昭和四十九年度調査実施した大字永塩（一部）、大字高浜（一部）、大字梅田、大字長洲（一部）、地区の地籍図及び地籍簿の作成が終了したので、国土調査法第十七条第一項の規定により、下記日程の通り、公告閲覧をいたしますので、お知らせいたします。

記

一、日時
昭和五十一年**三月十日から**
〃　**三月二十九日まで**
午前九時から午後四時まで
（土、日曜を除く）

二、場所

三月十日	塩屋公民館
三月十一日	永方公民館
三月十二日	葛輪公民館
三月十五日〜三月十六日	建浜公民館
三月十七日	駅通り公民館
三月十八日〜三月十九日	梅田公民館
三月二十二日	牛水公民館

右記期間内に閲覧できない方は三月二十三日から三月二十九日まで、長洲町役場産業振興課内にて閲覧下さい。

※なお、閲覧者は印鑑をご持参下さい。

三、閲覧に供する字名

（大字永塩）上月道（一部）、上鴻浦、中鴻浦、下鴻浦、宮西（一部）、葛輪（一部）、東葛輪（一部）、壱丁田、上前田、中前田、下前田、塘西
（大字高浜）牟田、宮の下、塘下、宮脇、建山、西原、大藤、海老浦、土井辻、浜浦（一部）
濱ノ上（一部）
（大字梅田）北山、向大藤、前大藤、辻居屋敷、山居屋敷、西原、才ノ元、南居屋敷、上岩原（一部）、村居屋敷
（大字長洲）大藤、石原、井樋内（一部）

「みどりの羽根」募金にご協力を

国土緑化推進委員会では、山林の緑化、環境の美化、公共施設の植樹に投じて、国土の緑化、生活環境の改善に資することを目的として、下記の通り「みどりの羽根」募金を実施いたしますので、ご協力をおねがいいたします。

記

募金期間　二月二十一日〜四月十五日
金額　二十円

農作業を委託しませんか

1、農家の基幹労働力は老令婦女化が著しい。
2、兼業化の進行によって農家の人手はますます不足。
3、農機具の過剰投資は採算があわない。

等の理由で農作業（育苗、田植収穫）の受委託の要請がますますつよまっています。

従来、稲作の省力化、育苗等が個別的に推進されてきましたが個人でやるより、広くまとまって組織的にやる方が技術的にも経済的にもはるかに有利です。兼業農家の要望で昨年水稲育苗事業を農協で実施されたが、今年は育苗、田植、刈取、乾燥のそれぞれの作業に取組む計画です。希望者は農協へ申し込まれますよう、お知らせします。

一、作業の種類
育苗（中苗）育苗から田植まで
収穫　刈取から乾燥まで
二、作業別料金（概算価格）
育苗（一箱当り）　二八〇円
田植（一〇アール当り）　三、五〇〇円
刈取（一〇アール当り）　一〇、〇〇〇円
乾燥（一〇アール当り）　五、〇〇〇円
（産業振興課）

工場めぐり⑥

最高の品質を目指して各種サッシを製造中

九州不二サッシ（株）

整然とした並木道

ご存じ、サッシを製造する会社、設立は四十四年十月である。森田茂工場長の指揮のもと、五七〇名の従業員が働いている。木造建築用、プレハブ住宅用、コンクリート建築用、店舗用の窓枠、アルミサッシドアなどを市場に供給している。

このほど会社東側の県道に町と共同して並木を配して、美観に一役買っている。従業員の体育、文化活動も盛んで、中でも軟式野球部は県下のトップレベルにあるチームが参加するといわれる川上杯大会において、優勝一回、準優勝二回を成し、又、天皇杯大会にも出場している。音楽部は施設の慰問など地域の奉仕活動に精を出している。

操業開始以来五年、グラウンドを町のスポーツ行事に開放するなど、みんなに親しまれているカンパニーである。資本金一三、五億円、取締役社長は年代茂さん。

サッシ組立作業

みんなの目

心の晴着で成人式に臨みましょう

向野北　熊本スミ子

年々、豪華、派手になりつつある成人女性の服装、市民の目を楽しませてくれる、まさしくオンパレードである。

しかし、もう少し考える点があるのではないでしょうか！

私も五年前、川崎で成人式をあげたのですが、家から送ってくれた晴着に身をつつみ、ウキウキした気分で会場に出かけたものだが……。

式がはじまり、私はみじめな気持で早く式が終ってくれればいいと心待ちしたのを覚えている。

ネンネコ、丹前に身をまとい、子供をだき、泣く子をあやしている一人の女性……

我々きれいに着飾った者の中で、一番きれい、美しかった女性、そして成人式の意義を心得た人はこの女性ではなかったのだろうか。

外見だけを装い、着飾った私、晴着を作らなかったから、着れないから成人式に出かけるのをよした人が私の知っている人の中には数多くいた。

そして、私も母が送ってくれなかったら、その一人だったかも知れない。もしかしたら今年もそういう人がいたかも知れない。これは現在の成人式のあり方に問題があるのではないのでしょうか。本人はもちろん、きれいなものを着たい。一円でも高い物を我が子に着せたいと思う親心もわかるけど……。

ある町の成人式の風景をテレビで見、私は感動したのである。派手で豪華になりつつあるこの世の中で、カスリのアンサンブルの晴着に着飾り、身をつつんだ女性達、そして母親達の心づくしのごちそう……。

毎年毎年、二十万〜五十万〜百万円と上がりつつある晴着。長洲町ももう少し成人式の意義を考え、服装は質素でも、その成人一人一人の成人に達した自覚の方を尊ぶ方がまっとうではないでしょうか。

成人式が晴着のオンパレードであっていいものでしょうか！

ながすの歴史 (3)

景行天皇と長洲町

古墳時代のことは、長洲町は未だ何も発見されていないが折地の四郎丸と赤崎に古墳らしいものがある。

◎（天平一五ー西暦七四三）元日の節会に腹赤の贄を太宰府を通して献上する。

◎（三〜七世紀、古墳時代）景行天皇十二年（七三）、天皇の親征軍は豊後に入り現在の日豊線を通り、川内川の上流よりに入り、人吉盆地を球磨川に沿い、葦北の日奈久の海岸に出られた。それから水島、八代海、火国の豊村に入り、怪火を見、八代県より三角の瀬戸を渡り、肥前の高木県に入り、六月三日長須浜に到着されたのである。

◎（西暦一世紀）長須浜の行宮に景行天皇が征西の記事として日本風土記に記述されている。

（郷土史年表）

日本書紀巻七に、「六月、辛酉の朔にして、癸亥の日（三日）、高来の県より玉杵名の邑に渡りたまひき、丙子の日（十二日）の日に阿蘇の国に到りたまふ。以下、天皇は、秋七月四日筑後の御木（三池郡三池）の高田の行宮に入られたことを記している。

腹赤の供御の池

景行天皇の御後を慕って郡から訪ねて来られたお妃の御刀媛と十一人の女官が海に身を投げて石になられたというのが姫ガ浦の地名の発祥であり、御刀媛をお祀りしたのが女石宮であり、十二人の人達をお祀りしたのが、腹赤新町の十二石神社である。その他、景行天皇にまつわる記念碑は一本木の記念碑、御腰石や供御の池等がある。

古墳時代の長洲町は現在のところ古墳が一つも発見されていないので、全くの謎である。唯、折地の四郎丸と赤崎に古墳らしいものがあるという報告を受けているが、正式に発掘し、確認していないので、未だ何ともいえないのが現状である。今後の研究に待つ所大なるものがある。

腹赤の贄（にへ）については、肥後風土記に次のように記されている。

「玉名の郡、長渚の浜、昔者、大足彦の天皇球磨噌唹を誅ち給ひて、還覲りましし時、この浜に御船泊て給ひき、云々。又　御船の左右に遊べる魚多かりき。棹人（さをびと）、吉備の国の朝勝見、鉤（つりばり）を以て釣り、所獲（えもの）多かりければ、すなはち獻りき。天皇「献わる魚はこれ何の魚ぞ」と勅（のり）給う云々という記事があり、これが一つの理由となって、天平一五年一月一四日、元日の朝廷の節会に腹赤の贄を献上するようになったのである。（林田幸昌）

おしらせ

国民年金の保険料が改められます

＜四月から千四百円に＞

昭和五十一年四月から国民年金の保険料は、これまでの千百円から千四百円に改められます。国民年金は、歳をとったり、障害者となったり、あるいは母子世帯になったりしたときに年金を支払って、加入者の生活の安定を図るためのものです。そのために、一昨年の春には大幅に年金額が引上げられ、また、一昨年、昨年と二年連続で物価スライドによる増額が行われ、合わせて四一、五％も年金額がふえました。

このようなこともあって、来月（四月）分から保険料は、一月につき千四百円になります。

国民年金制度が、健全に発展していくためには、これからも引上げを図らなければならないと思われます。将来のあなたの年金をよりよくするために、ぜひご協力ください。

なお、国民年金では、あなたが千四百円の保険料を納めると、国はあなたの受ける年金額の約三割に相当する額を負担することとなっています。

第11回 長洲町子供会大会

とき　三月二十八日（日曜）
ところ　長洲町体育館
内容　式典・みんなで楽しく等

二位に食い込む

＜金栗駅伝＞

去る二月二十二日、玉名市において、第三回金栗駅伝大会が行われましたが、当町から高校、一般の部（出場十チーム）に清源寮を中心に一チームが参加し、健闘よく二位に入賞しました。

（成績）

一位　専大玉名高校A
二位　長洲クラブ
三位　玉名工業高校
四位　岱明クラブ
五位　三加和クラブ（長洲クラブ選手名）
一区　中内久登志（区間四位）
二区　馬場　健吾（〃一位）
三区　片山　厚志
四区　藤田　利裕
五区　井芹　澄雄
六区　松本謙二郎
七区　平山　順一（区間一位）
補欠　竹本　勇一
〃　坂本　昌士

清源寺が初優勝

子供会ベースサッカー

小春日和の二月十五日行われたベースサッカー大会は熱戦の結果、左記のとおりの成績だった。参加チームは二十一子供会

優勝　清源寺子供会
準優勝　宝町〃
三位　梅田〃
三位　向野〃

おくやみ

次のかたがたから香典返しの意味で多額の御寄付を社会福祉協議会へいただきました。ここに厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りします

（敬称略）

（寄付者）	（死亡者）	（住所）
茂見　繁居	亡チト	新山
松永　清利	亡チジュ	下松原
松野　恒	亡津直	清源寺
松野　輝文	亡弥太郎	清源寺
伊藤　正夫	亡ユキ	梅田
吉原ユミ子	亡正一	下本
藤末　一介	亡チトシ	建浜
松岡　茂雄	亡秋義	下松原

短歌会

（順不同）

冬草に仰臥して見る白き雲工事場の音麓よりきこゆ
野中　俊之

飛行機に乗りて子の住む東京に行きて見たしとふと思ひたり
大草　義子

ひさびさに新しき鰯の手に入りて今日の昼餉の刺身のうまし
上田　寛子

ぬばたまの闇にかさこそ音のして老食客の夜半の飲食（オンジキ）
吉川ふじえ

母が経し遠き苦労を聞かさるる今宵はビールの味ほろにがし
野中　高子

思ほえずザクと音たつ栗林干反り積れる枯葉踏みしに
深草美由紀

縒りもどす糸張りはじく音冴えて衣縫ふ夜のいつか更けたり
田中　柳

裏作は利に合はざるか広々と耕地の荒れて野鳥の居つく
西川　勝己

元日を幼の熱の高くして恃みし当番医の声のやさしも
古閑みきえ

子の土産炬燵に食めばさみどりの和菓子の碾き茶ほろほろと落つ
中西久美子

足音の冴えてつきくる夜の道に折り折り犬の遠吠えきこゆ
寺田冨貴子

玻璃戸越し吾を認めし家犬のしきり尾を振る孤り居の昼
城戸はつえ

あくがれし泰西名画観んと行く朝の筑紫野に早春の光
田上　信子

くぐまりて古墳を見んと入りゆけば夫はライターを燈してくれる
馬場セキエ

孫連れて砂遊びする老人の夕日に映ゆるその笑ひじわ
大石伊津子

久々に来たりし里の石垣の苔の深みに母の影顕つ
木原　広子

ガラス類と金属類は別々のポリバケツに入れて出して下さい。